

2020年度 運営(事業)計画

教育理念：地域社会及び保健・医療・福祉をめぐる環境の変化に応じて、保健・医療・福祉の向上に貢献できる看護師を育成する。

副学校長 原

長期目標	短期目標	方法
1. 学校構成員一人ひとりの意思を尊重し、能動的に運営ができる環境をつくる。	1) 教職員のスキルアップをはかる。 (1) 適切な出張研修の選択 (2) 教員間による授業研究の実施 (3) 自己評価制度を活用した自己評価	(1-1)各教員の課題にあった出張研修選択 (2-1) 授業研究・授業評価・カリキュラム評価の検討・実施 (3-1)自己の働き方を評価し、マネジメント力を発揮し自己の資質の向上を図る。
	2) 定期的な会議を行い、連携を図る。 (1) 参加者の選択と議題の焦点化を図る。 (2) 講師会議を実施する (3) 学則等の遵守を徹底する	(1-1) 会議時間遵守に向けて、プレゼンテーション力を高める。スマート会議 (2-1)会議内容・形式・日時を評価する。
	3) 専任教員の段階的成長できるよう支援	(1-1)教員の年間目標が達成できるような研修への参加の支援
	4) 快適な職場環境を整える。 (1) 年次有給休暇の取得 (2) 勤務終了時間が18時30分以上にならない	(1-1)年次有給休暇の消化の義務化 (1-2)休業中に当番制で年次有給休暇消化。 (2-1)マネジメント力を発揮し、仕事の優先順位・学生指導時間など工夫する。 (2-2)18時30分以上勤務しなければならない場合、理由を報告してもらう。
2. 財源の維持を図りながら、学校環境を整える。	1) 学生総数が145名以下にならないよう推移する。 (1) 退学者数が5名以内となる (2) 留年者・卒業延期の学生が5名以内となる	(1-1) 退学者の分析を行い、情報を会議の議題に上げ共有を図る。 (1-2)単位未認定科目のある学生や欠席日数の多い学生など個別で支援していく。 (2-1)実習において、形成的評価を充実させ、指導を強化していく (2-2)実習指導者との連携
	2) 受験者数が80名を下回らない。 (1) HP やスマートフォン対応の内容の充実を図る (2) 本校の魅力を伝える手段の充実を図る	(1-1)HPの更新を随時行い、学校情報を発信して行く。(月1回更新担当制) (1-2)特別推薦について情報発信をする。 (2-1)高校の個別訪問を拡大して継続する。(尾道市内と受験者数が増えた学校 東広島や三次など) (2-2)社会人受験を増やすため市や福祉センターなど働きかける
	3) 設備点検と整備を行う	(3-1)下駄箱やロッカー、実習室のカーテン設置など検討を行う。

	4) 学則等の見直しと整理を行う (1)学則検討委員会など実施	(4-1)学則に関する規定・見直し
3.地域から高い評価が得られるような学校づくりができる。	1) 看護の向上を目指して、探求心を養い、資格の習得ができる (1) 履修科目の平均点が75点以上である学生が7割以上占める (2)ビジョンをもち、ゴールが80%達成できている学生が7割以上を占める	(1-1) 自己学習が習慣化するように支援する。 (1-2) 学習できる環境を整える。 解剖生理学を基盤とし病理学・復習強化 国家試験問題集活用した学習 科目試験・模擬試験見直し (2-1)ビジョンをもっているか確認し、ゴールに向けて努力し達成できるよう支援する。
	2) 国家試験合格率100%が達成できる。	(2-1)補講等継続 (2-2)授業工夫・個別指導
	3) 尾道市内医療機関への就職率向上に向けて、働きかける。	(3-1)医師会員の施設へ講演などの講師を依頼する。 (3-2)病院説明会の評価を行う。
	4) 進路・就職の相談の支援を行い、学生が希望する進路に進むことができる	(4-1) 情報提供・面談など就職支援。 (4-2)就職や進学希望調査、自己分析できるよう指導し、その学生にあった就職支援。
	5) 質の高い学生の確保に向けて、渉外活動	(5-1)課題学生の追跡調査を継続し、選考基準の評価を行う。 (5-2) 高校訪問・進路相談で本校の魅力を伝える
	6) 学校教育目標の公表	(6-1)卒業生へのアンケートと調査を実施。(時期：卒業前, 要検討)

HP 更新のお願い

HP更新することで本校の魅力を伝え、少しでも受験者数増加につなげていきたいと思ひます。
HP内容は行事内容以外でもよく、学校が取り組んでいることや学生の日常の出来事やよい表情など受験者が魅力ある学校と思ひ知りたひ情報を発信していきたくひと思ひます。
それにはみなさんのお力をお借りしたひと思ひます。よろしくお願ひいたします。

月	行事内容例	担当
4月	入学式・(合宿研修)	原
5月	歓迎会・(スポーツ交流会予行演習・東部地区スポーツ交流会)・バイク講習 病院説明会 学校説明会・講師会議	浮田
6月	日赤講習 オープンスクール	下川
7月	エイズ講習会	神波
8月	公開授業	原
9月	防災訓練	橋本
10月	学校祭	広保
11月	宣誓式・祝賀会	麻生
12月	施設見学(1・3年) 卒業研究発表会	林
1月	3年基礎実習(学内・臨地)	土井
2月	2年基礎実習(学内・臨地) 歓送会	平義
3月	卒業式 3年研修 芸術鑑賞	下川

課題も含む

平成 30 年度 運営計画

教育理念：地域社会及び保健・医療・福祉をめぐる環境の変化に応じて、保健・医療・福祉の向上に貢献できる看護師を育成する。

長期目標	短期目標	方法
1.学校構成員一人ひとりの意思を尊重し、能動的に運営ができる環境をつくる。	1) 教職員のスキルアップをはかる。 (1) 講習会への参加 (2) 教員間による授業研究の実施 (3) 自己評価制度を活用した自己評価	(1-1)学会（広島）や講習会へ積極的参加を促す (2-1)基礎看護技術・専門 統合分野の授業研究(2 回以上) (3-1)自己の働き方を評価し、マネジメント力を発揮し自己の資質を向上を図る。
	2) 定期的な会議を行い、連携を図る。 (1) 参加者の選択と議題の焦点化を図る。 (2) 講師会議を実施する。 (3) 学則等の遵守を徹底する。	(1-1) 会議時間遵守に向けて、プレゼンテーション力を高める。スマート会議 (2-1)会議内容・形式・日時を評価する。
	3) 専任教員の増員ができる。(1 人) (1) HP・同窓会への呼びかけ	(1-1)教員確保に向けて、卒業生へのアンケート調査と、リーフレットの配布を実施。
	4) 快適な職場環境を整える。 (1) 年次有給休暇の取得を推奨 (2) 勤務終了時間が <u>18 時以上にならない</u>	(1-1)年次有給休暇の消化に向けて、積極的に推奨する。休業中に当番制で年次有給休暇消化 (2-1)マネジメント力を発揮し、仕事の優先順位・学生指導時間など工夫する (2-2)2 週間に 1 回、定時に帰宅できるようにする。 <u>(2-3)就業時間 7.5 時間から 8 時間交渉 今後検討</u>
2.財源の維持を図りながら、学校環境を整える。	1) 学生総数が 160～170 名で推移する。 (1) 退学者数が 5 名以内となる。 (2)卒業延期の学生が <u>3 名以内</u> となる。	(1-1) パパ・QU のデータの活用として、情報を会議の議題に上げ共有を図る。 (1-2)単位未認定科目のある学生や欠席日数の多い学生など個別で支援していく (2-1)実習において、形成的評価を充実させ、指導を強化していく (2-2)実習指導者との連携
	2) 受験者数が 100 名を下回らない。 (1) HP やスマートフォン対応の内容の充実を図る。 (2)本校の魅力伝える手段の充実を図る。	(1-1)HP の更新を随時行い、学校情報を発信して行く。(月 1 回更新 担当制) (1-2)特別推薦について情報発信をする。 (2-1)高校の個別訪問を拡大して継続する。(尾道市内と受験者数が増えた

		学校など) <u>(2-2)広報活動として、バスなどで宣伝活動。 学校名入りブルゾン購入。 (看護衣購入を今年度辞めて 1 着 (2500 円+刺繍代) を購入)</u> ポロシャツ着用・学生の看護衣に学校名刺繍・ポスター評価
	3) 設備点検と整備を行う。	<u>(3-1)教職員トイレの戸 (リネン庫の戸)・各教室カーテンの改修を行う。</u>
	4) 学則等の見直しと整理を行う。 (1)入試委員会など実施	(4-1) 情報開示に関する規程などの見直しを行う。
3.地域から高い評価が得られるような学校づくりができる。	1) 看護の向上を目指して、探求心を養い、資格の習得ができる。 <u>(1) 学校満足度が 80%以上の学生が 60%以上を占める</u>	(1-1) 自己学習が習慣化するように支援する。 (1-2) 学校の環境 (人的・物的) を整え主体的に学ぶ力を引き出せるように支援する。自己を見つめ他者を思いやることができ支え合う雰囲気作り。リーダーシップ・メンバーシップ果たせるよう支援。
	<u>2)模擬試験のクラス平均点が全国平均点を上回る</u>	<u>(2-1)解剖生理学を基盤とし病理学・復習強化 国家試験問題集活用した学習 科目試験・模擬試験見直し</u>
	2) 国家試験合格率 100%が達成できる。	(2-1)補講等継続
	3) 尾道市内医療機関への就職率向上に向けて、働きかける。	(3-1)医師会員の施設へ就職ガイダンスの講師を依頼する。 (3-2)病院説明会の評価を行う。
	4) <u>進路・就職の相談の支援を行い、学生が希望する進路に進むことができる</u>	<u>(4-1)就職担当者 1 名決め、就職窓口を開設する。(平成 31 年度開設) 担当者は就職関係講習会参加する。情報提供・面談など就職支援。</u> <u>(4-2)就職や進学希望調査、自己分析できるように指導し、その学生にあった就職支援。</u>
	5) 質の高い学生の確保に向けて、渉外活動	(5-1)課題学生の追跡調査を継続し、選考基準の評価を行う。 (5-2) 高校訪問・進路相談で本校の魅力を伝える
6) 学校教育目標の公表	(6-1)卒業生へのアンケートと調査を実施。(時期：卒業前、要検討)	

HP 更新のお願い

HP更新することで本校の魅力を伝え、少しでも受験者数増加につなげていきたいと思ひます。

HP内容は行事内容以外でもよく、学校が取り組んでいることや学生の日常の出来事やよい表情など受験者が魅力ある学校と思ひ知りたひ情報を発信していきたく思ひます。

それにはみなさんのお力をお借りしたひと思ひます。よろしくお願ひいたします。

月	行事内容例	担当
4月	入学式・合宿研修・スポーツ交流会予行演習	下川
5月	歓迎会・東部地区スポーツ交流会・バイク講習 病院説明会 学校説明会・講師会議	浮田
6月	日赤講習 オープンスクール	林
7月	エイズ講習会	橋本
8月	公開授業	原
9月	防災訓練	土井
10月	学校祭	麻生
11月	宣誓式・祝賀会	神波
12月	施設見学(1・3年) 卒業研究発表会	浮田
1月	3年基礎実習(学内・臨地)	廣保
2月	2年基礎実習(学内・臨地) 歓送会	亀川
3月	卒業式 3年研修 芸術鑑賞	原

平成 29 年度 運営計画に対する意識調査

*運営計画について、先生方から評価をいただきたいと考えました。それをもとに総合評価につなげていきたいと思ひます。誠に恐縮ですが、**3/23 (金) 17:00 迄**にご提出をお願いいたします。

5段階評価 良い←5～1→悪い

教育理念：地域社会及び保健・医療・福祉をめぐる環境の変化に応じて、保健・医療・福祉の向上に貢献できる看護師を育成する。

長期目標：1. 学校構成員一人ひとりの意思を尊重し、能動的に運営ができる環境をつくる。

【短期目標】対象：教員	【調査項目】	【評価】
1) 教職員のスキルアップをはかる。 (1) 講習会への参加 (2) 教員間による授業研究の実施 (3) 自己評価制度を活用した自己評価	①講習会への参加ができたか？	5 4 3 2 1
	②授業研究はできたか？	5 4 3 2 1
	③自己評価制度を用いた自己評価は効果的か？	5 4 3 2 1
自由記載		

【短期目標】対象：全員	【調査項目】	【評価】
4) 快適な職場環境を整える。 (1) 年次有給休暇の取得を推奨	①年次有給休暇の消化に向けて、積極的に習得できたか？	5 4 3 2 1
	②休憩時間の確保のために、教務室入室制限時間を45分に拡大したが、休憩が確保できたか？	5 4 3 2 1
自由記載		

長期目標：2.財源の維持を図りながら、学校環境を整える。

【短期目標】対象：教員	【調査項目】	【評価】
1) 学生総数が160～170名で推移する。 (1) 退学者数が5名以内となる。 (2)卒業延期の学生が出ない。	①ハイパーQUのデータの活用として、情報を会議の議題に上げ共有を図っているか？	5 4 3 2 1
	②実習において、形成的評価を充実させ、指導を強化してきことができたか？	5 4 3 2 1
自由記載		

長期目標：3 地域から高い評価が得られるような学校づくりができる

【短期目標】対象：教員	【調査項目】	【評価】
1) 看護の向上を目指して、探求心を養い、資格の習得ができる。	①自己学習が習慣化するように支援できたか？	5 4 3 2 1
(1) 履修科目の平均点が80点以上である学生が、70%以上を占める。	②主体的に学習に取り組めるように支援できたか？	5 4 3 2 1
(2) マナーと倫理を常に考えた行動がとれる。	③経験を意味づけ、課題克服に向けて取り組むように支援できたか？	5 4 3 2 1
自由記載		

平成 29 年度 運営計画

教育理念：地域社会及び保健・医療・福祉をめぐる環境の変化に応じて、保健・医療・福祉の向上に貢献できる看護師を育成する。

長期目標	短期目標	評価
1.学校構成員一人ひとりの意思を尊重し、能動的に運営ができる環境をつくる。	1) 教職員のスキルアップをはかる。 (1) 講習会への参加 (2) 教員間による授業研究の実施 (3) 自己評価制度を活用した自己評価	
	2) 定期的な会議を行い、連携を図る。 (1) 参加者の選択と議題の焦点化を図る。 (2) 講師会議を実施する。 (3) 学則等の順守を徹底する。	教員会議時間が 12 時を過ぎることがある。しかし、会議時間の短縮は図れている。講師会議を開始して 3 年目となる。今年度は、事前アンケート調査の結果を反映して実施した。そのためか、医師会員 (B) 外部講師の出席率が増え、全体の出席率は 40% となった。学則等に遵守しながら実施できた。
	3) 専任教員の増員ができる。(1 人) (1) HP・同窓会への呼びかけ	問い合わせが 1 件あった、卒業生へ個人的に打診もしたが、増員には結びついていない。
	4) 快適な職場環境を整える。 (1) 年次有給休暇の取得を推奨	
2.財源の維持を図りながら、学校環境を整える。	1) 学生総数が 160～170 名で推移する。 (1) 退学者数が 5 名以内となる。 (2) 卒業延期の学生が出ない。	学生総数は 167 名で 4 月は始まった。4 年生の卒業前は 157 名で 160 名を下回った。退学種数も 7 名と多く、進路変更が主な理由である。卒業延期者も 8 名いた。そのうち 1 名は 3 月末で退学となった。休学者は少ないが、4 年間で卒業する学生の割合が低く動向としては良い結果ではない。検討が必要である。
	2) 受験者数が 140 名を下回らない。 (1) HP やスマートフォン対応の内容の充実を図る。 (2) <u>本校の魅力を伝える手段の充実を図る。</u>	受験者数は 100 名であった。全体的に受験者数は昨年度を下回っていたが、特に A 日程が昨年度より 20 名と少ない。専願入試で合格者数を多くとったため、学生数は 43 名で確保できた。特別推薦枠で入学した学生も 1 名いた。ポスターのデザインを一新した。高校訪問の数は、昨年度と大きくは変わらなかった。訪問校の選択は受験者の状況をみて決定した。
	3) 設備点検と整備を行う。	男子トイレの改修を実施した。

	4) 学則等の見直しと整理を行う。 (1)学則検討委員会の実施	見直しが必要な規程は、検討委員会 職員会議、運営委員会を経て変更が 行えた。
3.地域から高い 評価が得られ るような学校 づくりができ る。	1) 看護の向上を目指して、探求心を養い、資 格の習得ができる。 (1) <u>履修科目の平均点が80点以上である学 生が、70%以上を占める。</u> (2) <u>マナーと倫理を常に考えた行動がとれ る。</u>	
	2) 国家試験合格率100%が達成できる。	
	3) 尾道市内医療機関への就職率向上に向け て、働きかける。	尾道市内と実習施設を含む就職率 は、39.4%で昨年度を上回った。しか し、3名の不合格者を含んでいる。第 一志望の施設が不合格であった者は 10名(38名中)に上る。現3年生は 県の施策である就職ガイダンスの受 講を勧めている。入試選考日程を4 回から5回へ増やした。質の高い学 生の確保につながったかは、入学生 の追跡調査が必要である。
	4) 質の高い学生の確保に向けて、 <u>入試選考日 程の変更を行う。</u>	
	5) 学校教育目標の公表	